

事前評価個表

整理番号	8 6
------	-----

地域（地区）名	みどりかわ 緑 川地域	事業 名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対 象 市 町 村	宇土市ほか6市町
事業実施期間	H 2 3 ～ H 2 7 （5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	緑川地域森林計画区は、熊本県のほぼ中央部に位置し、東は宮崎県と接し、西は有明海及び不知火海に面している。 総面積122,769haのうち森林が69,578ha（森林率57%）を占めている。このうち民有林が55,790ha（民有林率80%）、民有人工林が32,024ha（人工林率57%）となっている。 民有人工林の構成は、適正な保育・間伐を必要とする～Ⅹ 齢級が占める割合が91%であり、林齢的には成熟期にあるが、木材価格の低迷による林業経営意欲の低下などとともに、林業従事者の減少・高齢化といったことから間伐等の手入れが不十分な森林が増加している。 水源涵養・山地災害防止機能等の公益的機能とともに景観保全と都市や地域住民の憩いの場としての機能が求められており、効率的な木材の有効利用とあわせ適正な森林施業が必要である。 本計画に基づき、森林の配置や齢級構成に応じた整備を行うことによって、林業従事者の安定した事業量の確保や後継者の育成に寄与するとともに、森林の有する多面的機能の確保が可能となる。 その他、他産業との連携等に関しては、農耕地の多くが森林に近接していることから、関係部局との連携を図り、農林業の振興を図っていく。
事業内容・事業費	森林整備：4,214ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等 総事業費：1,228,244千円
費用対効果分析結果	B/C = 4.10
評価結果	必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。 効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。 有効性：健全な森林づくり等によって、水源涵養・国土保全等の機能の確保はもとより、将来の資源の循環利用にとって有効である。 本計画は、森林の公益的機能を発揮するために適切な森林整備等計画としている。また、効率性、有効性が認められ、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。

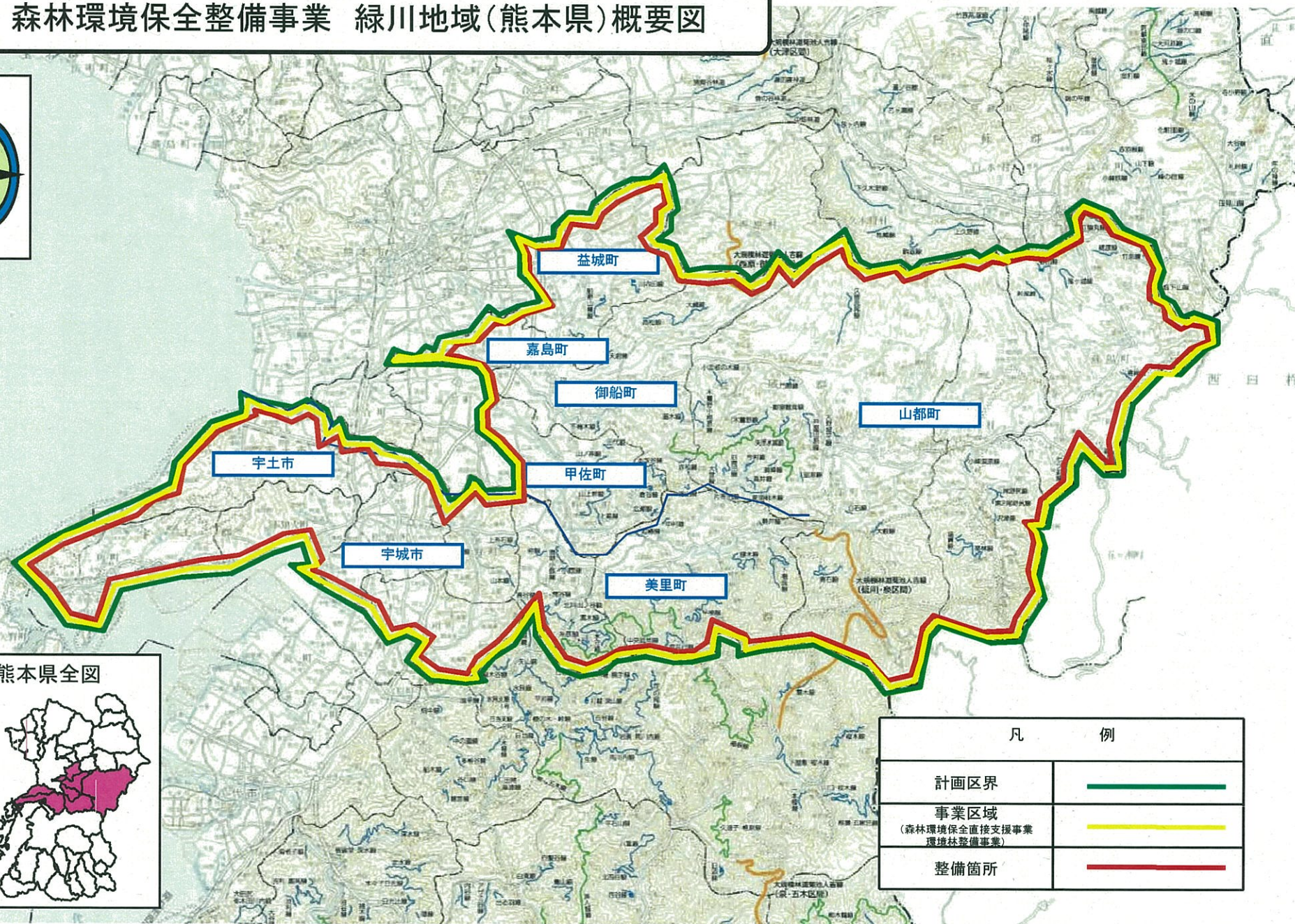
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 緑川

熊本県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,445,544	
	流域貯水便益	770,138	
	水質浄化便益	1,314,490	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,777,757	
	土砂崩壊防止便益	3,062	
環境保全便益	炭素固定便益	295,832	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	417,189	
総 便 益 (B)		7,024,012	
総 費 用 (C)		1,712,999	
費用便益比	$B \div C = \frac{7,024,012}{1,712,999} = 4.10$		

森林環境保全整備事業 緑川地域(熊本県)概要図



凡	例
計画区界	—
事業区域 (森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業)	—
整備箇所	—

事前評価個表

整理番号	87
------	----

地域（地区）名	くまがわ 球磨川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	八代市ほか14市町村
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	球磨川地域森林計画区は、熊本県の南部に位置し、南は鹿児島県、東は九州山地を境に宮崎県と接し、西は不知火海に面している。 総面積268,180haのうち森林が209,119ha（森林率78%）を占めている。このうち民有林が171,594ha（民有林率82%）、民有人工林が118,657ha（人工林率69%）で、県内民有林の43%を当地域で占めており、熊本県を代表する林業地域であることを示している。 民有人工林の構成は、適正な保育・間伐を必要とする～Ⅹ齢級が占める割合が9.1%であり、水源涵養・山地災害防止機能等の公益的機能とともに景観保全と都市や地域住民の憩いの場としての機能が求められており、効率的な木材の有効利用とあわせ適正な森林施策が必要である。 また、第一次産業に従事する者の割合が高い本地域においては、森林施策の計画的かつ継続的な実施が必要な課題であり、将来を見据えた森林整備等を実施することが必要である。 今後、森林を適正に整備推進するうえで、伐期到達林の増加に加え、間伐期を迎えた林分の施策を積極的・計画的に推進し、木材の安定供給を図ることが特に重要である。 本計画に基づき地域林業の担い手の育成と生産組織の強化、優良材の生産促進、基盤整備などによる生産性の向上、流通加工体整備、充実など林業の総合産業化を促進するとともに、森林の公益的機能を維持し森林整備施策を計画的に進める。 なお、他産業との連携等に関しては、農耕地の多くが森林に近接していることから、関係部局との連携を図り、農林業の振興を図っていく。
事業内容・事業費	森林整備：30,505ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等 総事業費：9,372,824千円
費用対効果分析結果	B/C = 4.09
評価結果	必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。 効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。 有効性：健全な森林づくり等によって、水源涵養・国土保全等の機能の確保はもとより、将来の資源の循環利用にとって有効である。 本計画は、森林の公益的機能を発揮するために適切な森林整備等計画としている。また、効率性、有効性が認められ、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 球磨川

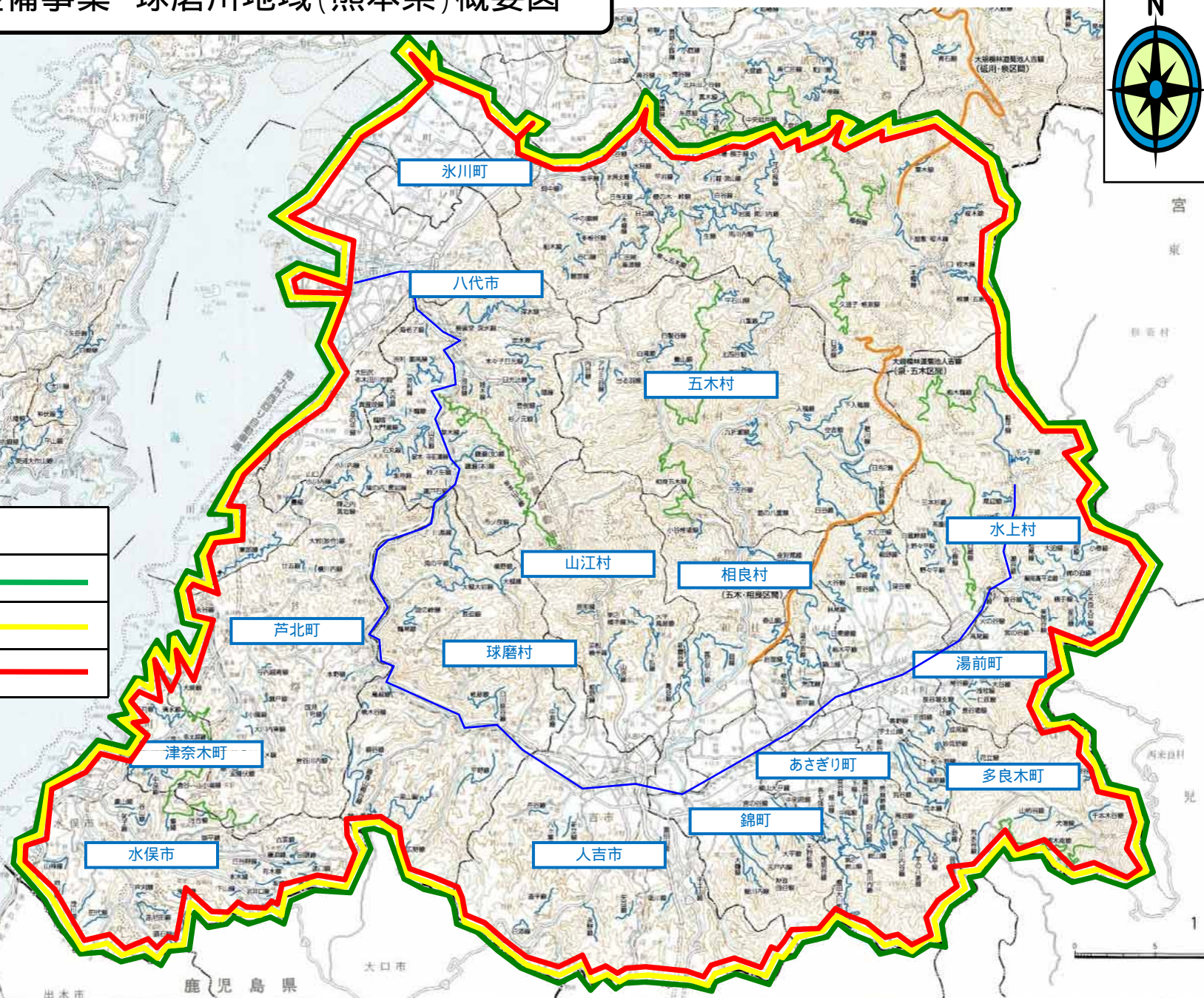
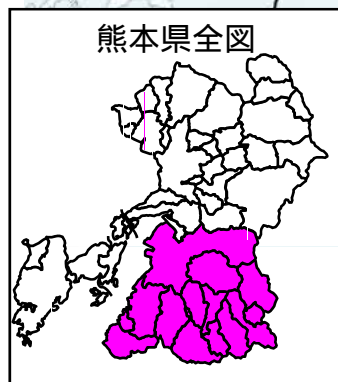
熊本県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	20,212,593	
	流域貯水便益	5,769,431	
	水質浄化便益	9,847,414	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,390,036	
	土砂崩壊防止便益	26,554	
環境保全便益	炭素固定便益	2,692,807	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	3,509,260	
総 便 益 (B)		54,448,095	
総 費 用 (C)		13,289,002	
費用便益比	$B \div C = \frac{54,448,095}{13,289,002} = 4.09$		

森林環境保全整備事業 球磨川地域(熊本県)概要図



凡 例	
計画区界	—
事業区域 (森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業)	—
整備箇所	—



事前評価個表

整理番号	88
------	----

地域（地区）名	あまくさ 天草地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	上天草市ほか2市町
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	天草地域森林計画区は、熊本県の西部に位置し、四方を海に囲まれ、北は有明海、西は東シナ海、南から東は不知火海に面している。 総面積87,598haのうち森林が58,274ha（森林率67%）を占めている。このうち民有林が57,047ha（民有林率98%）、民有人工林が22,883ha（人工林率40%）となっており、他地域と比べ人工林率が低い。 民有人工林の構成は、適正な保育・間伐を必要とする～Ⅹ齢級が占める割合が94%であり、特に、当地域は県内他地域と比べ若齢林の割合が高く、早急に間伐等を行い、水源涵養・山地災害防止機能等の公益的機能の発揮とともに効率的な木材の有効利用を推進するために、適正な森林施業が必要である。 本計画に基づき、森林の配置や齢級構成に応じた整備を行うことによって、林業従事者の安定した事業量の確保や後継者の育成に寄与するとともに、森林の有する多面的機能の確保が可能となる。 なお、他産業との連携等に関しては、農耕地の多くが森林に近接していることから、関係部局との連携を図り、農林業の振興を図っていく。
事業内容・事業費	森林整備：7,975ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等 総事業費：2,140,376千円
費用対効果分析結果	B/C = 4.73
評価結果	必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。 効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。 有効性：健全な森林づくり等によって、水源涵養・国土保全等の機能の確保はもとより、将来の資源の循環利用にとって有効である。 本計画は、森林の公益的機能を発揮するために適切な森林整備等計画としている。また、効率性、有効性が認められ、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。

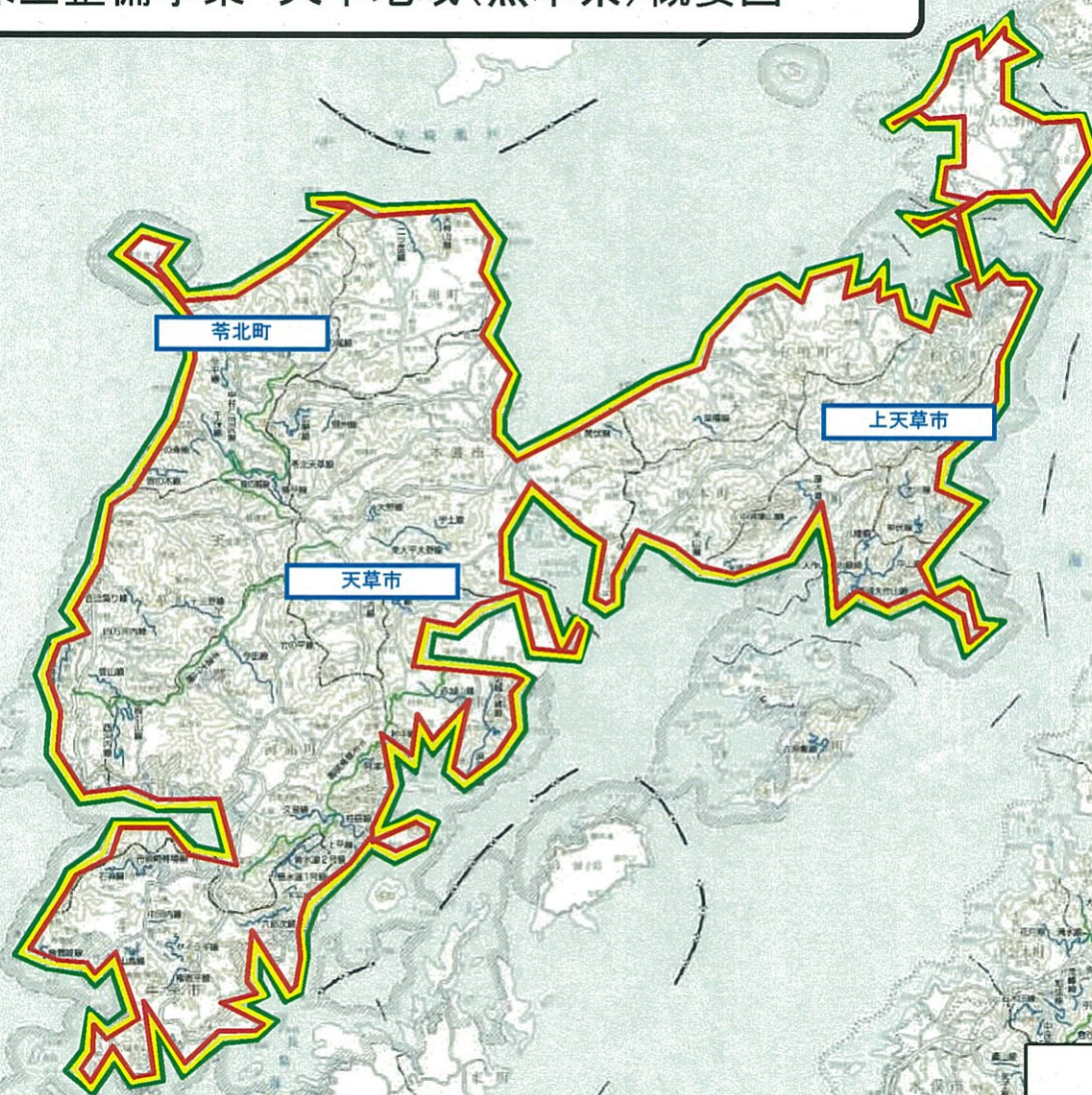
便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 天草

熊本県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,208,511	
	流域貯水便益	1,241,519	
	水質浄化便益	2,119,058	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,963,436	
	土砂崩壊防止便益	6,455	
環境保全便益	炭素固定便益	313,595	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	215,707	
総 便 益 (B)		10,068,281	
総 費 用 (C)		2,124,775	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,068,281}{2,124,775} = 4.73$		

森林環境保全整備事業 天草地域(熊本県)概要図



熊本県全図



凡 例	
計画区界	
事業区域 (森林環境保全直接支援事業 環境林整備事業)	
整備箇所	